

地域療育等支援事業 てくてく

※大分市の委託事業（地域療育等支援事業）

療育教室

地域の市民センターで実施しています。

親子で楽しく参加することができます。

保育士・心理士・看護師などが、それぞれの専門性を活かして集団療育や相談を行っています。



療育内容

その時々の子どもの発達段階や特性により変化を持たせています。

活動の流れ)朝のあいさつ、自由遊び(自己選択活動)おあつまり、サーキット、絵本、「電車」での移動、粘土、帰りのあいさつ

個別の療育相談

心理士や保育士が個別の相談に応じ、発達段階や特性に応じた具体的な関わりなどを紹介します。

相談支援事業所 あおぞら

相談支援専門員が子どもさんやご家族の意向や状況をお聞きします。解決すべき課題を踏まえて、適切なサービスの組み合わせ等について検討した上で計画を作成します。

○大分市の障害福祉課等から「サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案提出依頼書」を受け取った時や、福祉サービスを利用したい時はご相談ください。（予約制です。）

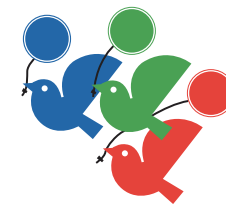
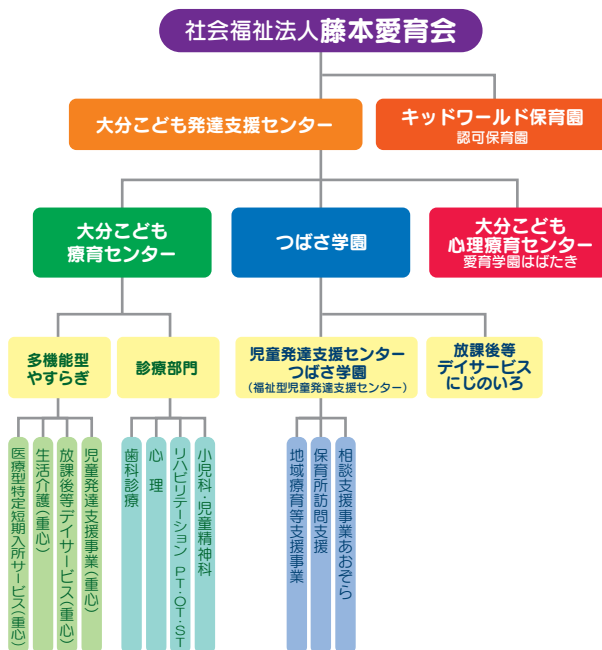
相談受付 月曜から土曜（祝日を除く）8:30～17:30

電話番号 097-557-0114

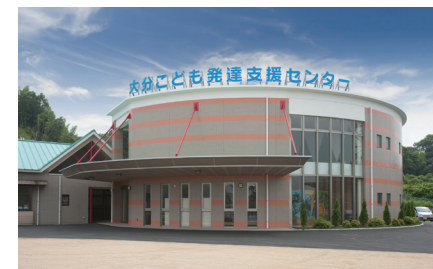


法人組織図

平成27年4月現在



つばさ学園



社会福祉法人 藤本愛育会 **大分子ども発達支援センター**

〒870-0943 大分市大字片島字長三郎 2996-3

<http://www.oita-kodomo.net/ryouiku/>

児童発達支援センター つばさ学園
放課後等デイサービス にじのいろ
地域療育等支援事業 てくてく
相談支援事業所 あおぞら

TEL 097-557-0114 FAX 097-557-0226

e-mail : info@tsubasa-gakuen.jp.net

「一人ひとりのこどもが生き生きと心豊かに生活し、 持っている力を十分に伸ばして、将来に向かって羽ばたいていくこと」

を理念として、こどもの発達段階や状態に応じた個別支援計画を基に早期療育を実践しています。
情緒の安定を基礎に、基本的な生活習慣やコミュニケーション能力、社会性が身に付くことを目指しています。

児童発達支援センター つばさ学園

2001(平成13)年に設立された児童発達支援センターです。
就学前のこどもたちが生き生きと生活しています。

○対象

原則として、大分市から児童発達支援の支給を受けたこどもさん
が対象です。1歳半から就学前のこどもさんが通園しています。
通園の初期には、親子通園を提案しています。

○定員

一日 30 人

○保育所等訪問支援事業等も行います。

○開園時間

月曜～土曜(祝祭日休み)

登園 9:00～ 各クラス活動10:30～

降園15:00～

こどもさんの状況によって、登園・降園時間が変更になること
もあります。

○通園方法

自家用車や徒歩での通園のほか、こどもさんやご家族の状況に
よって園バスでの送迎ができます。



一日の流れ

時 間	活動内容	活動の一場面
9:00	・登園 ・朝の準備(活動準備・確認) ・自由遊び(自己選択活動)	
10:25	・お片付け	
10:30	・クラス活動・全体活動 朝のおあつまり 外遊び(水・砂・土・泥遊び、遊具など) サーキット 社会スキル 粘土 植物栽培 お絵かき 製作活動 音楽リズム など	
11:40	・給食	
13:10	・昼休み(自由遊び) ・お片付け	
13:15	・クラス活動・全体活動 感覚遊び 散歩 製作 音楽リズム など	
15:00	・リラクゼーション ・帰りのおあつまり ・降園 ・あいさつ	

放課後デイサービス にじのいろ

個々の特性に応じた遊びや活動を通して「楽しい」時間を過ごし、
できることの喜びや、充実した気持ちを味わえる居場所を提供し
ています。

○対象

原則として、大分市から放課後等デイサービスの支給を受
けている児童(小学生・中学生・高校生)

○定員

一日 20 人

○開園時間

月曜～金曜 13:00～17:00

土・学校の長期休暇日(祝祭日休み)10:00～16:00

○送迎方法

専用バスや自家用車

送迎時刻は、こどもさんの状況等をふまえて決定します。



(思いきり体を動かせる園庭での活動)

(選択できるおやつ)